

著者紹介（執筆順，＊は編者，①所属・職位，②最終学歴，③業績）

＊大庭三枝（おおば みえ）

【第1章・第12章・コラム4】

①神奈川大学法学部教授

②東京大学大学院総合文化研究科博士課程単位取得満期退学，博士（学術）

③“Japan and the Regional Comprehensive Economic Partnership (RCEP).” In *Political Economy of East Asian Economic Integration: The Process of the RCEP Negotiations and Beyond*. Routledge, 2025.

『東アジアのかたち：秩序形成と統合をめぐる日米中 ASEAN の交差』（編著）千倉書房，2016.

『重層的地域としてのアジア：対立と共存の構図』有斐閣，2014.

＊中西嘉宏（なかにし よしひろ）

【第2章・第8章・コラム2】

①京都大学東南アジア地域研究研究所教授

②京都大学アジア・アフリカ地域研究研究科一貫制博士課程修了，博士（地域研究）

③『ミャンマー現代史』岩波書店，2022.

『ロヒンギャ危機：「民族浄化」の真相』中央公論新社，2021.

『軍政ビルマの権力構造：ネー・ウィン体制下の国家と軍隊 1962-1988』京都大学学術出版会，2009.

玉田芳史（たまだ よしふみ）

【第3章】

①放送大学京都学習センター所長

②京都大学大学院法学研究科博士後期課程中途退学，博士（法学）

③『政治の司法化と民主化』（編著）晃洋書房，2017.

『移民と政治：ナショナル・ポピュリズムの国際比較』（共編著）昭和堂，2011.

Myths and Realities: The Democratization of Thai Politics. Kyoto University Press, 2008.

高木佑輔（たかぎ ゆうすけ）

【第4章】

①政策研究大学院大学准教授

②慶應義塾大学大学院法学政治学研究科博士課程退学，博士（法学）

③『新興アジアの政治と経済』（共著）放送大学教育振興会，2024.

Technocracy and Populism in the Philippines. In *Business and Populism: The Odd Couple?* Oxford University Press, 2023.

Central Banking as State Building: Policymakers and Their Nationalism in the Philippines, 1933-1964. Ateneo de Manila University Press, National University of Singapore Press, Kyoto University Press, 2016.

小山田英治（おやまだ えいじ）

【第5章】

①同志社大学大学院グローバル・スタディーズ研究科教授

②名古屋大学大学院国際開発研究科博士後期課程終了，博士（学術）

③『猛威を振るうストロングマン：ガバナンス改革と権威主義の再興隆』（共編著）明石書店，2025。

『開発政治学と持続可能な開発：途上国のガバナンス制度化の総合的考察』（共編著）晃洋書房，2025。

『開発と汚職：開発途上国の汚職・腐敗との闘いにおける新たな挑戦』明石書店，2019。

本名 純（ほんな じゅん）

【第6章・コラム1】

①立命館大学国際関係学部教授

②オーストラリア国立大学博士課程修了，博士（政治学・国際関係学）

③*Health Security in Indonesia and the Normalization of the Military's Non-Defence Role*. ISEAS-Yusuf Ishak Institute, 2022.

The Law and Politics of Military Call-Outs in Indonesia's Counterterrorism. In *Military Operation and Engagement in the Domestic Jurisdiction: Comparative Call-Out Laws*, Brill Nijhoff, 2022.

The Politics of Securing Khaki Capitalism in Democratizing Indonesia. In *Khaki Capital: The Political Economy of the Military in Southeast Asia*, Nordic Institute of Asian Studies, 2017.

見市 建（みいち けん）

【第7章】

①早稲田大学大学院アジア太平洋研究科教授

②神戸大学大学院国際協力研究科博士課程後期修了，博士（政治学）

③*Anti-Feminist Discourse in Indonesia: A Case Study of the Family Love Alliance (AILA)*. In *Trajectories of Indonesian Islam: Festschrift in Honour of Martin van Bruinessen*. UIII Press, 2024.

Indigenizing Islamism in Indonesia: Prosperous Justice Party's Approaches Towards Traditionalist Muslims. *Politics, Religion and Ideology* 24(1), 2023.

『ソーシャルメディア時代の東南アジア政治』（共編著）明石書店，2020。

藤田 渡（ふじた わたる）

【第9章】

①大阪公立大学大学院現代システム科学研究科教授

②京都大学大学院人間・環境学研究科博士課程修了，博士（人間・環境学）

③「イサーンにおける「赤シャツ」農民の生態学：支持・参加の濃淡と生業・生態環境の相関から」『東南アジア研究』60（2），2023。

The Rubber Boom Assemblage and Internalized Friction: Attitudes of the Government, NGOs, and Farmers in Northeast Thailand. *Southeast Asian Studies* 9-3, 2020.

『森を使い、森を守る：タイの森林保護政策と人々の暮らし』京都大学学術出版会、2008.

***岡本正明（おかもと まさあき）**

【第10章・コラム3】

①京都大学東南アジア地域研究研究所教授

②京都大学博士（地域研究）

③*Local Governance of Peatland Restoration in Riau, Indonesia: A Transdisciplinary Analysis.*
(joint editorship) Springer, 2023.

「ソーシャルメディアでのロヒンギャの語られ方：マレー語のツイート分析から」『東南アジア研究』（共著）62(1), 2024.

Politics of New Tools in Post-Truth Indonesia: Big Data, AI and Micro-Targeting. In *The Jokowi-Prabowo Elections 2.0.* (joint authorship) ISEAS Publishing, 2022.

鈴木早苗（すずき さなえ）

【第11章】

①東京大学大学院総合文化研究科教授

②東京大学大学院総合文化研究科博士課程修了，博士（学術）

③『ASEAN の政治』東京大学出版会、2024.

『合意形成モデルとしての ASEAN：国際政治における議長国制度』東京大学出版会、2014.

Can ASEAN Offer a Useful Model? Chairmanship in Decision-Making by Consensus. *The Pacific Review* 34(5), 2021.

青木（岡部）まき（あおき（おかべ） まき）

【第13章】

①日本貿易振興機構アジア経済研究所地域研究センター動向分析研究グループ長

②東京大学総合文化研究科総合社会科学専攻，修士（学術）

③『タイ2019年総選挙：軍事政権の統括と新政権の展望』アジア経済研究所，2020.